

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【公開番号】特開2018-158549(P2018-158549A)

【公開日】平成30年10月11日(2018.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-039

【出願番号】特願2017-58010(P2017-58010)

【国際特許分類】

B 4 1 M	5/52	(2006.01)
B 4 1 M	3/06	(2006.01)
B 4 1 J	2/01	(2006.01)
B 3 2 B	27/00	(2006.01)
B 4 1 M	5/00	(2006.01)
B 3 2 B	5/18	(2006.01)

【F I】

B 4 1 M	5/52	1 0 0
B 4 1 M	3/06	F
B 4 1 M	3/06	C
B 4 1 J	2/01	5 0 1
B 4 1 J	2/01	1 2 5
B 3 2 B	27/00	C
B 4 1 M	5/00	1 0 0
B 3 2 B	5/18	

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月13日(2020.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材の一方の面上に形成されたアンカー層と、
前記アンカー層の上に形成された熱膨張層と、を備え、
前記基材は樹脂からなるフィルムであり、
前記アンカー層は、ポリエステル・アクリル・ウレタン複合樹脂を含む、
ことを特徴とする熱膨張性シート。

【請求項2】

前記基材の一方の面上には、第1のインク受容層が形成されており、
前記アンカー層は前記第1のインク受容層上に形成される、
ことを特徴とする請求項1に記載の熱膨張性シート。

【請求項3】

前記基材の他方の面には接着層及び剥離層が形成され、
前記剥離層の、前記接着層に形成されている面と反対の面には、第2のインク受容層が
形成される、
ことを特徴とする請求項2に記載の熱膨張性シート。

【請求項4】

基材の一方の面上にアンカー層を形成する工程と、

前記アンカー層の上に熱膨張層を形成する工程と、を備え、
前記基材は樹脂からなるフィルムであり、
前記アンカー層を形成する工程では、
前記基材の一方の面上に、ポリエステル・アクリル・ウレタン複合樹脂を用いて、又は
、前記基材の一方の面上にコロナ処理を施すことによってアンカー層を形成する、
ことを特徴とする熱膨張性シートの製造方法。

【請求項 5】

前記基材の一方の面上には、第1のインク受容層が設けられており、
前記第1のインク受容層上に前記樹脂を塗布することによって、前記アンカー層を形成
する、
ことを特徴とする請求項4に記載の熱膨張性シートの製造方法。

【請求項 6】

前記基材の他方の面には接着層及び剥離層が形成され、
前記剥離層の、前記接着層に形成されている面と反対の面には、第2のインク受容層が
形成される、
ことを特徴とする請求項5に記載の熱膨張性シートの製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明に係る熱膨張性シートは、
基材の一方の面上に形成されたアンカー層と、
前記アンカー層の上に形成された熱膨張層と、を備え、
前記基材は樹脂からなるフィルムであり、
前記アンカー層は、ポリエステル・アクリル・ウレタン複合樹脂を含む、
ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するため、本発明に係る熱膨張性シートの製造方法は、
基材の一方の面上にアンカー層を形成する工程と、
前記アンカー層の上に熱膨張層を形成する工程と、を備え、
前記基材は樹脂からなるフィルムであり、
前記アンカー層を形成する工程では、
前記基材の一方の面上に、ポリエステル・アクリル・ウレタン複合樹脂を用いて、又は
、前記基材の一方の面上にコロナ処理を施すことによってアンカー層を形成する、
ことを特徴とする。